



回復期リハビリテーション病棟のご案内

【間中病院の回復期リハビリテーション病棟とは】

脳出血・脳梗塞などの脳血管疾患発症または、大腿骨頸部骨折など下肢骨折術後に入院し、集中的にリハビリテーションを行う病棟です。リハビリテーションは病院内で完結するものではなく、自宅で日常生活を送ることが毎日のリハビリテーションとなり、生活を維持する糧となります。そのため、患者様・ご家族様にも参加いただき、医師（脳神経外科医・整形外科医・リハビリテーション医）、看護師、PT（理学療法士）、OT（作業療法士）、ST（言語聴覚療法士）、医療ソーシャルワーカーがひとつのチームとなってサポートします。また、退院する際は、必要に応じて「自己トレーニング方法」をお伝えしていきます。

回復期リハビリテーション病棟では、個別リハビリテーションだけではなく、病棟での生活自体をリハビリととらえ、患者様に生活を送っていただきます。

【間中病院のリハビリテーションの特色】

i.各サポートチームが患者様の課題を重点的に個別解決を図ります。

各サポートチームを編成し、個別リハビリテーションだけではなく、リハビリテーションを提供する病棟環境や栄養状態改善、排泄動作自立を目指すための定期チームカンファレンスを行っています。

また、身体抑制ゼロを目指して、カンファレンスを定期的で開催しています。

【サポートチーム種類：排泄ケアチーム、摂食嚥下サポートチーム、栄養サポートチーム】

例）在宅復帰をするにあたり、排泄動作の自立は、『要』となります。排泄ケアチームが介入し、排泄動作を工夫した結果、ほぼ100%自宅退院に結びついています。（2019年実績）

ii.リハビリテーション提供頻度や時間

1週間に7日間（土日含む）個別リハビリテーションを提供しています。

脳血管疾患の方：1日3時間まで 整形外科疾患：1日2時間まで

個別リハビリテーション以外に集団リハビリテーションを提供しています。

iii.入院時家屋評価、または退院時家屋評価を行います。

入院生活から在宅生活へスムーズにつなげるために、必要に応じて行います。

本人、ご家族、リハビリスタッフ、ソーシャルワーカー、ケアマネージャー、福祉用具業者等、日程を合わせて伺います。

iv.モーニングケア、イブニングケアを行います。

リハビリテーションは、“入院生活”から“日常生活”への転換を図ることが目的のひとつです。

1日中、パジャマを着て過ごすのではなく、起床後は日常着（普段着）を着て過ごし、夕方にパジャマに着替えるケアを毎日行います。また、日常生活に近づける一環で、病棟で食事をするのではなく、食堂で食事を摂っていただくこととなります。

【費用について】

基本的には、医療費+食費（オムツ利用者はおむつ代）

※差額室料（税別） 4人部屋 0円、2人部屋 3000円/日、個室 6000円/日

※オムツは持ち込みはご遠慮いただいております。

【オムツセット金額(税別) オムツ 1日 730円 パンツ式オムツ 1日 530円】

※日常生活に必要なパジャマや日常着、日用消耗品については、お持ち込みください。

日常着は、運動をしやすいスウェットなどを用意してください。リハビリテーションに適した靴をご用意ください（スリッパ等脱げやすい靴不可）

お持ち込みが難しい方については、アメニティ貸与のシステムもございます。入院当日、アメニティー会社へご依頼いただくことができ、入院当日よりご利用いただくことができます。

【よくあるQ&A】

Q1.主治医は何科になるの？

A1.脳神経外科医、整形外科医、リハビリテーション医が病状に応じて判断し、当方で決定させていただきます。

Q2.リハビリテーション医療って通常の医療と何が違うの？

A2.内科や外科の医療は、薬や点滴、手術など、患者様は受動的に医療を受けることが多くなります。

しかし、リハビリテーション医療は、患者様が**能動的**に医療に取り組まないと成立しない医療です。

ご本人がリハビリテーションに取り組むというモチベーションが大事になります。

Q3.面会時間は何時ですか？リハビリテーションは見学できるの？

A3.面会時間は、14:00～20:00（土日祝日を含む）となります。リハビリテーションの見学もすることができます。ご希望の際は、担当セラピストまたは、病棟にお申し出ください。

※面会については、社会情勢に応じ、禁止となることもあります。ご了承ください。

Q4.アメニティ貸与は、転院当日からできるの？

A4.当日より利用していただくことができます。アメニティ貸与は、(株)アメニティー会社に委託しております。契約は院内で行えますが、請求は、当院の入院費とは別にご自宅に郵送となります。

Q5.退院の準備といっても、どうしたらよいかわからない。

A5.必要に応じ、医療ソーシャルワーカーが担当し、ご本人の生活状況に合わせて、一緒に考えます。

ご本人やご家族がどのように生活をしてこられたかなど、まずは教えてください。

同じ病気でも、十人十色の人生があります。それぞれの方の生き方や価値観を教えてください、共有し、利用できる制度活用や地域のケアマネージャーと連携し、一緒に生活の再構築を支援させていただきます。

Q6.入院前に見学はできますか？

A6.できます。職員がついて病棟をご案内しますので、ご予約をお願いします。



お問い合わせは・・・

間中病院 地域医療連携室

0465-43-8730(直通) まで